

警 備 業 務 仕 様 書

1 業務内容

警備対象施設の警備業務は、特別の場合を除き、次のとおりとする。

(1) 巡回点検業務

別添「警備巡回経路図」により巡回経路に従い、定時に館内、敷地内を巡回点検し、定時巡回以外であっても現場の状況に応じて必要と認めたとき、若しくは委託者が必要と認めたときは随時に巡回点検する。

館内、敷地内及び敷地周辺の巡回点検は、次の項目のとおりとする。

- ア 不法侵入者、挙動不審者の取締り及び不心得者等への注意
- イ 施設、備品等の保全、不要箇所の消灯及び施錠の確認
- ウ 火気の取締り
- エ 危険行為の防止
- オ 車両及び来館者の誘導案内
- カ 降雪期に委託者が契約する除雪委託業務について、休館日及び職員の出勤前若しくは退勤後の除雪作業、作業時間の確認
- キ その他防災等必要と認められる事項

(2) 管理室業務

ア 鍵の保管及び受渡し

職員の登退庁時その他の事務室のかぎ受渡しは、別記様式 4 「かぎ受渡記録」に記録するものとする。

イ 施設等への出入者及び職員の登退庁者の確認

職員出入口において、出入者は別記様式 2 「出入者名簿」、勤務時間外に出入りする職員は別記様式 3 「時間外出入者名簿」に記録し、必要と認められるときは身分証明書等の提示を求め、その身分を確認するものとする。

ウ 来館者及び文書、物品、配達物、電話等の受付連絡業務

到達文書等はすべて開封せず、保管し引継ぐものとする。

エ 遺失物及び拾得物の受付業務

遺失物及び拾得物は、速やかに業務担当員に報告するものとする。

オ 出入口の開閉

閉館後、理由なく館内に残っている者がいるときは退館させること。。

特に指示がある場合を除き、次により行うこと。

区 分	解 錠	施 錠
入館者出入口	午前 9 時30分	午後 5 時00分
職員出入口	午前 7 時00分	午後 6 時30分

(3) その他業務

ア 国旗、道旗等の掲揚

次のとおり国旗、道旗等の掲揚及び降納を行うこと。

(ア) 掲 揚 午前 9 時00分

(イ) 降 納 午後 5 時00分

イ 防犯警報器及び火災報知器等の監視

ウ 災害その他異常な事態が発生したときの緊急連絡

次の事項を認めたときは、直ちに委託者又は業務担当員に報告すること。

ただし、緊急を要する場合は、事態に対する措置を講じ事後に速やかに報告すること。

(ア) 火災発生のおそれがあるとき。

(イ) 盗難・忘失の事態を発見したときや、その届出をうけたとき。

(ウ) 事故等の異常を発見したとき。

エ 入館者に事故があったときは、直ちに委託者又は業務担当員に報告するとともに必要な措置を講ずること。

オ 巡回に支障が生じないよう照明の電球の取替等

カ 不法侵入者及び挙動不審者の取締り

次の事項を認めたときは、直ちに委託者又は業務担当員に報告すること。

ただし、緊急を要する場合は、事態に対する措置を講じ事後に速やかに報告すること。

(ア) 許可を得ないで施設、設備等を使用しようとする者がいるときは制止し適宜の処置をとること。

(イ) 許可を得ないで物品を販売したり寄附金等を募るなど、その他これらに類する行為をしようとする者がいるときは制止し適宜の処置をとること。

(ウ) 正当な理由なく火薬類あるいは発火生・引火性の物品等、施設、設備、美術作品等の物品を汚損する恐れのある不潔物を持ち込もうとするものがあるときは制止し適宜の処置をとること。

(エ) 泥酔等により他人に迷惑をかけるおそれのあるものが、入館した場合又は入館しようとするときは制止し適宜の処置をとること。

(オ) 館内禁止事項（展示室内での携帯電話使用、飲食、鉛筆以外の筆記用具の使用、美術作品に手を触れる行為や敷地内への自転車の乗り入れ（障がい者の自家用車乗り入れを除く。）等）の行為者を発見した時は注意の上、排除する。ただし、入館者等とトラブルが生じないよう委託者又は業務担当員及び展示室監視職員等と十分連携する。

(カ) その他、公序良俗に反する行為をする者がいるときは制止し適宜の処置をとること。

キ 火気の手配

ク 危険行為の防止

ケ その他警備業務を実施する上で必要があると認め協議した業務

2 巡回時間

(1) 定時巡回（館内・敷地内）

パトロールレコーダーを携行し、パトロールレコーダー記録用かぎ設置箇所において打刻する。

1 回の巡回に係る時間は、45分程度とする。

ア 平日（祝日・休日開館日を含む。）

回 数	巡 回 開 始 の 時 刻 等
第 1 回	18時00分から18時30分の間に巡回を開始
第 2 回	21時00分から21時30分の間に巡回を開始
第 3 回	23時30分から24時00分の間に巡回を開始
第 4 回	5 時00分から 5 時30分の間に巡回を開始

イ 別紙「令和 6 年度帯広美術館日程表」の休館日

回 数	巡 回 開 始 の 時 刻 等
第 1 回	9 時30分から10時00分の間に巡回を開始
第 2 回	13時00分から13時30分の間に巡回を開始
第 3 回	18時00分から18時30分の間に巡回を開始
第 4 回	21時00分から21時30分の間に巡回を開始
第 5 回	23時30分から24時00分の間に巡回を開始
第 6 回	5 時00分から 5 時30分の間に巡回を開始

(2) 随時巡回（館内・敷地内）

パトロールレコーダーの携行は要しない。

ア 平日（祝日・休日開館日を含む。）の 8 時45分から17時30分までの間は、概ね 9 時30分、13時30分に随時に巡回点検を開始する。

イ 常時巡回できる体制を保持することとし、定時巡回以外に現場の状況に応じて必要と認めたときは、随時に巡回する。

3 巡回時の注意事項等

巡回点検にあたっては、次の事項に注意し、異常があるときは委託者又は業務担当員に報告しなければならない。

- (1) 可燃物の確認及び未処理可燃物の処理
- (2) 水道及びガス等の元栓開閉塞の状態
- (3) 電気機器等の通電の状態
- (4) 消灯の状況
- (5) 物品等の監視
- (6) 消防設備等の異常の有無
- (7) 出入口、各室等の戸締まり
- (8) 戸締上不備と認められる箇所の有無
- (9) 建築物環境衛生基準（ビル管理法）に示す事項の維持管理の状況

4 警備業務中の仮眠時間の取扱い

仮眠時間は、午前 0 時45分から午前 5 時00分までとする。

ただし、仮眠時間中に緊急を要する事態が発生したときは、措置を講じて適正な処理をする。